



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月1日

上場会社名 株式会社 アイ・エス・ビー
 コード番号 9702 URL <http://www.isb.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 若尾 逸雄
 (氏名) 川崎 工三
 TEL 03-3490-1761

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	12,280	23.7	447	76.2	447	63.3	193	41.4
28年12月期第3四半期	9,925	6.3	253	88.8	274	112.0	136	619.2

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 229百万円 (128.2%) 28年12月期第3四半期 100百万円 (450.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	37.93	
28年12月期第3四半期	26.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	9,194	5,658	61.5
28年12月期	7,802	5,556	71.2

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 5,658百万円 28年12月期 5,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		25.00	25.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	26.9	680	124.7	700	115.3	420	139.9	82.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有な会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期3Q	5,105,800 株	28年12月期	5,105,800 株
29年12月期3Q	6 株	28年12月期	6 株
29年12月期3Q	5,105,794 株	28年12月期3Q	5,105,794 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間のわが国経済は、北朝鮮に対する米国の強硬姿勢により、北朝鮮情勢の緊張感は強まっており、中国の動向も含めたアジア情勢のリスクは高い状況ではあるものの、米国経済の堅調な拡大等を受け、為替も比較的安定して推移しており、総じて緩やかな回復傾向で推移いたしました。

国内要因に関しましては、海外経済の不透明感による円高のリスクは懸念されるものの、失業率は低水準で推移しており引き続き改善傾向にある、雇用環境、所得環境を背景に、個人消費につきましても緩やかな回復傾向で推移いたしました。

このような環境下、当社グループが属する情報サービス産業につきましては、企業収益の改善を背景に大手企業を中心としたIT投資需要はまだまだ高い水準にあり、従来のシステム開発案件に合わせ、クラウドサービス等新たなサービスへの需要が高まっており、堅調に推移しております。

当社グループにつきましては、引き続き当期で最終年度となる3か年中期経営計画の達成に向け鋭意注力してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

売上高は、主に新規連結会社の影響により、前年同期比で増加いたしました。

利益面に関しましては、プロジェクト管理強化による収益性改善等が寄与し、セキュリティシステム事業で進めております次期主力製品の研究開発費用等で増加した販管費及び一般管理費を吸収し、連結営業利益、同経常利益、同親会社株主に帰属する四半期純利益が、前年同四半期に比べ増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高122億80百万円（前年同四半期比23.7%増）、営業利益4億47百万円（前年同四半期比76.2%増）、経常利益4億47百万円（前年同四半期比63.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億93百万円（前年同四半期比41.4%増）となりました。

当社グループは、「情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務」の単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間における株式会社アートおよび同社の子会社であるアートサービス株式会社の連結子会社化に伴い、報告セグメントを「情報サービス事業」と「セキュリティシステム事業」に変更しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(情報サービス事業)

情報サービス事業では、「モバイルインフラ」、「組込み」、「情報サービス」、「フィールドサービス」が堅調に推移し、前年同四半期を上回っております。一方、「携帯端末」、「公共」、「金融」については、IT技術者不足や開発案件の縮小の影響を受け、前年同四半期を下回りました。

新事業においては、前年同四半期を上回って推移しており、引き続き営業活動に鋭意注力し取り組んでまいります。

利益面は、プロジェクト管理強化による収益性改善等が寄与し、前年同四半期に比べ改善いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は99億46百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益は3億22百万円（前年同四半期比27.1%増）となりました。

(セキュリティシステム事業)

セキュリティシステム事業は、出入管理、入退室管理システムおよび施工等、総じて順調に推移いたしました。一部売上の期ずれや、上期から期ずれした次期主力製品の研究開発費用等の投資の影響により、営業利益は、計画値を下回っております。

以上の結果、当事業における売上高は23億33百万円、営業利益は1億24百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末において、資産は、91億94百万円と前連結会計年度末より13億91百万円増加いたしました。これは主として商品や土地、のれん等の増加額が、現金及び預金、受取手形及び売掛金等の減少額を上回ったことによるものであります。

負債は、35億35百万円と前連結会計年度末より12億89百万円増加いたしました。これは主として支払手形及び買掛金や短期借入金、賞与引当金等の増加額が、未払金等の減少を上回ったことによるものであります。

純資産は、56億58百万円と前連結会計年度末より1億2百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金の増加およびその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は61.5%と9.7ポイント低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、期首計画を上回っているものの、各利益につきましては、期首計画を若干下回って推移しており、先行き不透明な要因も認められますが、今後の外部環境や業界の景況は引き続き良好であると予測しております。従いまして、平成29年2月14日公表の通期連結業績予想を変更していません。今後、当社グループの状況により業績予想の修正の必要がみとめられた場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,091,158	2,856,454
受取手形及び売掛金	2,830,690	2,820,912
前払費用	77,479	121,937
商品	30,464	496,356
仕掛品	249,028	300,846
貯蔵品	—	2,803
繰延税金資産	90,550	135,834
その他	36,194	71,211
貸倒引当金	△2,799	△6,151
流動資産合計	6,402,768	6,800,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	333,809	400,724
減価償却累計額及び減損損失累計額	△228,228	△270,593
建物及び構築物 (純額)	105,580	130,130
土地	248,084	605,084
その他	341,366	463,870
減価償却累計額及び減損損失累計額	△255,661	△356,476
その他 (純額)	85,704	107,394
有形固定資産合計	439,369	842,609
無形固定資産		
のれん	182,318	544,513
その他	271,227	297,555
無形固定資産合計	453,545	842,068
投資その他の資産		
投資有価証券	248,480	373,522
長期前払費用	6,667	6,221
差入保証金	147,811	160,773
会員権	1,100	11,600
繰延税金資産	77,868	114,271
その他	90,260	108,525
貸倒引当金	△65,457	△65,681
投資その他の資産合計	506,731	709,233
固定資産合計	1,399,647	2,393,912
資産合計	7,802,415	9,194,118

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	727,463	1,113,803
短期借入金	370,000	830,000
未払金	428,244	330,479
未払費用	13,063	98,874
未払法人税等	146,945	188,508
未払消費税等	163,214	145,929
賞与引当金	16,203	345,096
受注損失引当金	3,954	6,189
その他	125,290	91,854
流動負債合計	1,994,379	3,150,735
固定負債		
退職給付に係る負債	51,992	173,058
役員退職慰労引当金	141,918	149,013
資産除去債務	52,197	53,709
繰延税金負債	5,852	—
その他	—	9,183
固定負債合計	251,961	384,965
負債合計	2,246,341	3,535,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,707,526	1,707,526
資本剰余金	2,311,704	2,311,704
利益剰余金	1,500,276	1,566,303
自己株式	△4	△4
株主資本合計	5,519,502	5,585,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,766	103,305
為替換算調整勘定	△28,195	△30,417
その他の包括利益累計額合計	36,571	72,887
純資産合計	5,556,074	5,658,417
負債純資産合計	7,802,415	9,194,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,925,869	12,280,236
売上原価	8,581,439	10,085,707
売上総利益	1,344,429	2,194,529
販売費及び一般管理費	1,090,493	1,747,002
営業利益	253,936	447,526
営業外収益		
受取利息	1,606	324
受取配当金	4,153	6,157
受取保険金	7,500	—
その他	8,169	8,946
営業外収益合計	21,430	15,428
営業外費用		
支払利息	711	8,721
その他	520	6,699
営業外費用合計	1,231	15,420
経常利益	274,135	447,534
特別利益		
投資有価証券売却益	667	—
特別利益合計	667	—
特別損失		
投資有価証券償還損	2,985	—
役員退職慰労金	—	9,074
特別損失合計	2,985	9,074
税金等調整前四半期純利益	271,817	438,460
法人税、住民税及び事業税	128,005	200,508
法人税等調整額	6,871	44,279
法人税等合計	134,876	244,788
四半期純利益	136,940	193,671
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,940	193,671

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	136,940	193,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,868	38,538
為替換算調整勘定	△19,297	△2,222
その他の包括利益合計	△36,166	36,316
四半期包括利益	100,774	229,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,774	229,988

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年1月1日 至平成28年9月30日）

当社グループは、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年1月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額（注）	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	9,946,687	2,333,548	—	12,280,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,773	—	△27,773	—
計	9,974,461	2,333,548	△27,773	12,280,236
セグメント利益	322,644	124,882	—	447,526

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、株式会社アートおよびアートサービス株式会社を連結の範囲に含めたことにより、当社グループの事業展開、経営資源の配分の決定及び業績評価の方法を実態に即して見直したことにより、報告セグメントの区分を変更しております。従来は「情報サービス」の単一の報告セグメントでありましたが、「情報サービス」と「セキュリティシステム」の2報告セグメント体制へ変更しました。なお、前第3四半期連結累計期間につきましては、「情報サービス」の単一セグメントに変更はありません。